



# 創生

～魂がふるえるとき時代は動く～

2007

## 8 月 度 例 会 定 時 総 会

8 月 10 日 ( 日 ) 萩 商 工 会 議 所 3F

決 定 2008 年 度 理 事 長 山 縣 賢 一 郎 君



8 月 10 日、商工会議所 3 F において 8 月 度 例 会 が 行 わ れ ま し た。こ の 度 は 次 年 度 の 理 事 長 が 発 表 さ れ、次 年 度 の 理 事、監 事 が 選 出 さ れ る 定 時 総 会 が 行 わ れ る 例 会 と あ っ て い つ も と 違 う 緊 張 感 が あ っ た よ う に 感 じ ま し た。

定 時 総 会 で は 2008 年 度 理 事 長 に 山 縣 賢 一 郎 50 周 年 実 行 委 員 長 が 選 ば れ た こ と が 発 表 さ れ、出 席 者 全 員 の 拍 手 に よ り 承 認 さ れ ま し た。

そ の 後、植 野 暢 之 副 理 事 長 が 選 挙 管 理 委 員 長 に 任 命 さ れ 理 事・監 事 の 選 挙 が 行 わ れ、次 年 度 理 事 に 河 村 隆 之 君、田 村 昌 彦 君、玉 村 信 一 君、長 富 博 文 君、波 多 野 俊 裕 君、吉 武 要 一 君、増 山 真 吾 君、榎 埜 守 貢 君、次 年 度 監 事 に 大 谷 幹 二 君、岸 田 繁 樹 君 が そ れ ぞ れ 選 ば れ ま し た。

本 年 は 杉 山 芳 文 理 事 長 の 下 「創 生」の スロ ー ガ ン を 掲 げ 50 周 年 と い う 節 目 を 向 か え ま し た。来 年 は 60 周 年、70 周 年、100 周 年 に 向 け 新 た な ス タ ー ト で あ り、山 縣 理 事 長 の 下、会 員 全 員 一 丸 と な り 理 事 長 を 支 え て さ ま ざ ま な 課 題 に 取 り 組 み、新 た な 歴 史 を 創 造 し て い か な け れ ば な ら な い と 感 じ ま し た。

総 務 情 報 委 員 会 委 員 長 岡 智 之

# 平成松下村塾

～誇り高き我が街 萩～



本年度、社団法人萩青年会議所 社会開発委員会では、わが街で暮らし、働き、また学んでいる若者を対象に政治意識の高揚を目標に掲げ「平成松下村塾」なる塾を開塾し活動してまいりました。

さて、昨今、国の掲げる地方分権が推し進められ、地方の自立が課題となってきております。中央と地方における地域格差の問題も増大の一途をたどっております。そうしたなか、この地域を変革して行く為には、やはり政治や行政の役割は重要であり、とりわけこれからのわがまちを担っていく若者の政治参加が絶対的に必要であると考えます。若者にとっては、自分たちの考えは政治家の公約に取り込まれていなかったり、自分たちが主張しても反映してはもらえないとの思い込みから、ますます、無関心になっているのではないのでしょうか。

また我が街萩は、明治維新胎動の地であり、国を動かした多くの若い志士たちを輩出した地域でもあります。今回の塾に入塾していただくことにより、塾生の政治意識を高揚させ、政治に興味を持ち、先人達の志を受け継ぎ、そしてなによりも、わがまちを愛してやまない若者たちが、この地域より育ってくれればと思ひからこの「平成松下村塾」を開塾いたしました。

開塾にあたり、萩市及び阿武町に在住、在勤、在学の若者を対象に塾生を公募いたしました。

塾の内容は、生の政治を体感してもらう為、東京国政視察をメインに全6回開催いたしました。

第1回は、松陰先生と門下生というテーマで、萩市特別学芸員の一坂太郎先生に講義をしていただきました。「目標」とは違う「志」を持つということはどういうことなのか、塾生一人一人が深く考える回になりました。

第2回は、現代政治学入門というテーマで政治の仕組み等をメンバーである玉村信一君を講師にして学んで頂きました。

第3回は、我が街の現状と将来についてというテーマで我が街より選出の県議員のお二方より講義をしていただきました。地域の現状を学び自分達の足許を知る回になりました。

第4回は、塾生みんなで我が街についての思いを意見交換し、提言書をまとめました。

第5回は、国会見学・総理官邸訪問を行い、我が街選出で萩 JC のOB でもある河村代議士に前回まとめた提言書を提出いたしました。その後、世田谷松陰神社を参拝し、松陰先生の墓前では、塾生全員がこれからの萩を、未来の日本を真摯に考え、行動していくことを誓ったものと思います。

そして、最終回となる第6回は、オープン塾ということで、我々 JC マンとも同世代、塾生とも歳が近い、後藤田正純先生にご講演いただきました。歯切れのいいお話と、実際に国政にかかわっていただければ聞けないお話に、思わず引き込まれてしまいました。そして最後に塾生みんなに塾の成果を発表していただき閉塾となりました。

社会開発委員会 副委員長  
波多野 慎一



# のんた大提灯パレード



8月3日開催予定ののんた大提灯パレードは悪天候の為、20数年ぶりに中止となりました。私は担当者としても1生に1度の機会でしたし、卒会予定者の思い出がつかれなかったのが残念でなりません。しかし、これは夏祭り実行委員会と住吉神社と全町内会総意の下で決定させていただきました。楽しみにされていた方、のんた参加初めての新入会員のみなさん、来年以降にこの祭りに期待していただきたいと思います。

さて、今年度、当委員会は「のんた大提灯パレード」のPRと「町内会の盛り上げ」というバックアップに努めました。市役所には提灯を展示し、各町内の由来を紹介しました。また、50周年記念式典・祝賀会でステージ横に22町内の大提灯を飾り、山口ブロック各会員会議所と来賓に来られた皆様にも紹介できたと信じています。今年の結果が必ず来年以降につながる事を祈念しています。

事業推進委員会委員長 波多野 俊裕



## ディベートオープン委員会



8月22日、商工会議所会議室において、会員指導力拡大委員会のディベートオープン委員会を開催しました。

これは、9月度例会でのテーマであるディベート入門に先駆けて、JCメンバーの皆さんにディベートに関する基礎知識やルールを確認していただく趣旨で設定したものです。

当日は急な告知にもかかわらず、多数のメンバーに出席していただき、大変ありがとうございました。

自分自身、ディベート、という字句自体は聞いたことがあったのですが、内容については今回の準備で初めて理解したような有様で、進行を務めながら勉強させていただきました。

実践練習のテーマであった、「優先すべきはJCか家庭か？」においては、シビアな話題？にもかかわらず、JCきっての論客4人の方に即興とは思えないくらいの白熱したディベートを展開していただきました。

即興でこのレベルまでできた、ということで当委員会としても、9月度例会での本番を非常に楽しみにしながら準備を進めて行きたいと思います。

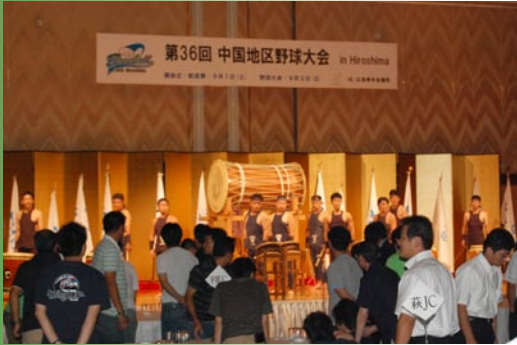
会員指導力拡大委員会 委員 大久保 浩元





# 前夜祭

9月1日(土) 萩JCダイナマイツは山口ブロック球技大会で3位となり2年ぶりに地区出場を果たしました。選手と応援団一行は大型バスをチャーターし広島へと乗り込みました。前夜祭に萩JCから18名の参加をいただき盛り上がりました。前夜祭は広島JCの太鼓同好会のメンバーによる太鼓の音により幕を開けました。広島JCの野球部による楽しい余興の後、組合せ抽選会が行われ浜田JCとの対戦が決定いたしました。



# 中国地区野球大会

in hiroshima  
9月2日(日)



去る9月2日広島草津球場にて中国地区球技大会が開催されました。当日の天気は心配されましたが、曇り空ではありましたが予定通り浜田JCとの1回戦が始まりました。初回からヒットの連続でまず杉山理事長がホームイン!!理事長の後に続けとばかりに続々と得点し、5点先取とすべり出し好調でした。4点リードで勝利が見えてきた最終回裏、デッドボールやフォアボールが重なってしまい、7対8での惜敗という結果に終わりました。試合は残念でしたが「打って走れる萩JC」と聞いていた通りの素晴らしいプレーを沢山見せていただきました。選手の皆さんお疲れ様でした。最後にお忙しい中、広島まで駆けつけていただいた三浦・阿川・村本先輩、会員の皆さん、玉村団長をはじめとする白塗り美女(?) 応援団の皆さん心のこもったあたたかい応援ありがとうございました。

ダイナマイツマネージャー 齊藤 恵



## 編集後記

最近、ある公園にすごく豪華な遊具が設置されていて、日本の豊かさを感じました。その反面、世の中では口ハスという言葉を目にする機会も増えて、近ごろは関心も高くなっています。物が飽和状態の便利な暮らしの中で、大切なことを見失わないようにしたいと思いました。